月刊 AEHA通信　2021 年4月号

◆◆◆ 今月の主な内容 ◆◆◆

◇トピックス ： 評議員会書面決議
◇主な委員会活動等 ： 製品安全委員会等
◇協会インフォメーション ： 今後の行事予定等
◇定点観測データ ： 家電リサイクル法対象4品目引取実績等
◇溜池ボイス ： リアル「二刀流」

■□■ トピックス ■□■

◆評議員会書面決議

3月 15 日(月)に第 17 回評議員会の予定でしたが、緊急事態宣言下のため、書面でのみなし決議及び報告を行いました。詳細は以下のとおりです。

●議案審議　「監事の選任について」
2021 年3月 15 日付け全評議員一致で、猪股匡順氏(一般社団法人日本ガス石油機器工業会専務理事)が、監事に選任されました。

●報告事項
(1)2021 年度事業計画及び収支予算について
(2)指定法人 2021 年度事業計画書及び収支予算書の認可申請について
(3)規程類の改正について
(4)その他　今後の行事予定について

■□■主な委員会活動等■□■

＜消費者部関連＞

◆製品安全委員会

本委員会は、製品ライフサイクル全般にわたる製品安全確保の取り組み、個社では解決の難しい共通課題についての調査・研究、並びに施策の実施を目的として活動を行っています。

○2020 年度 産業構造審議会 保安・消費生活用製品安全分科会 製品安全小委員会及び消費経済審議会 製品安全部会 合同会議 (3月1日)

2020 年の製品事故の発生状況及び課題、インターネット取引における製品安全、リチウムイオン蓄電池の安全対策、規制の見直し事項等について報告、審議が行われ、本会議には、家製協より伊藤専務理事、及び製品安全委員会委員長が委員として出席しました。

○第5回 製品安全委員会運営会議 (3月 19 日)

1. 第4回製品安全委員会の議事次第について
2. 電磁波の測定データ更新について
3. 電気用品等製品のIoT化検討会について
4. 2021 年度事業計画について

○第４回 製品安全委員会（３月 26 日）

1. 2020 年度産業構造審議会 製品安全小委員会(3/1)内容について
2. 電気用品安全法の型式区分合理化実現に向けた活動について
3. 電磁波の測定データ更新について
4. 2019 年度 事故情報分析調査報告書(案)について
5. 電動車 AC100V 電源検討 WG 活動状況について
6. 2020 年度の外部委員会（IoTに関する検討会等)について
7. 2020 年度活動実績と 2021 年度活動計画について

○第4回 技術法規WG（3月 11 日）

1. 電気用品安全法の型式区分合理化実現に向けた経産省製品安全課との Web 会議(3/9)の内容と今後の対応について
2. 外部委員会(IoTに関する検討会等)について

○第６回 電動車AC100V電源検討 WG （3月 19 日）

1. 自工会啓発メッセージ更新（案）に対する家製協検討結果について
2. 家電製品の取扱説明書、保証書への必要性について
3. 自工会への（仮）リスクシナリオ周知に関する提言書について

◆ＵＤ技術委員会

本委員会では、UD関連のJIS、ISO原案作成委員会に委員を派遣し、業界意見の反映を図っています。
また、UD関連に取り組む関係機関との意見交換を通じて政策の動向把握と課題発掘に努めています。

○第９回ＵＤ技術委員会（３月５日）

1. 家製協ガイド「ICT機器連携に関するアクセシビリテイ配慮事項」作成について
2. 第1回 JIS S0013「高齢者・障害者配慮設計指針」原案作成委員会の審議内容について
3. 総務省日本版VPATの進捗状況について
4. 2021 年度事業計画について

◆ アフターサービス委員会

本委員会では、長期使用製品の安全点検の効果的、効率的な仕組みや、アフターサービスに係る行政からの指導事項への対応を行っています。

○第４回アフターサービス委員会（３月 15 日）

1. 製品安全総点検月間での愛情点検シート配布活動の見直しについて
2. 夏場に向けたエアコン試運転の周知ポスター、チラシの活用について
3. 2021 年度事業計画について

◆消費者啓発委員会

本委員会では、近年の消費者関連の法令や制度の改正・拡充に対応し、行政、消費生活センター、消費者団体との交流を一層深めることで、消費者問題に対する業界の積極的な取り組み姿勢をPRしています。

○第５回消費者啓発委員会（３月 18 日）

1. 2020 年度事業計画推進状況について
2. 2021 年度事業計画について
3. 「家電製品を安全にお使いいただくために」へのアクセス状況について

＜技術部関連＞

◆第 12 回 省エネルギー対策委員会（３月 25 日）

2020 年度第 12 回の省エネルギー対策委員会をリモート会議にて、開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事メモ案の確認
2. 総合資源エネルギー調査会・省エネルギー・新エネルギー分科会・省エネルギー小委員会及び傘下のワーキンググループにおける審議内容の確認
3. 省エネ家電温暖化防止啓発WG等の活動報告
4. 2020 年度事業計画実績及び 2021 年度事業計画の確認

○第 12 回 省エネ家電温暖化防止啓発WG（３月８日）

2020 年度第 12 回の省エネ家電温暖化防止啓発WGをリモート会議にて、開催いたしました。
主な議題は以下の通りです。

1. 前回議事メモ案の確認
2. 2020 年度2月度アクセス状況の確認
3. 次年度版に向けた企画審議
4. 2020 年度事業計画実績及び 2021 年度事業計画の確認

＜環境部関連＞

◆第 41 回 製品アセスメント委員会（３月 18 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事要旨（案）確認
2. 2020 年度製品アセスメント事例原稿審査
3. 2020 年度事業計画の推進状況について
4. 環境配慮設計関係ホームページ改定の件
5. 2021 年度事業計画（案）について

◆家電リサイクル委員会

○第6回 2020 年度版家電リサイクル年次報告書作成WG（3月 30 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. データ収集状況について
2. スケジュール・その他

○第6回 2020 年度普及広報WG（3月 30 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 新コンテンツテーマについて
2. スケジュール・その他

＜流通部関連＞

◆第 345 回 流通EDI標準化推進委員会（３月 10 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. インボイス制度（適格請求書等保存方式）に関する説明
2. 前回議事録（案）確認
3. NTT-PCダイヤルアップサービス停止に伴う各社対応状況
4. 啓発・PR関連及び商品情報検討WG活動報告
5. その他情報交換（流通企業の動向等）

＜RKC関連＞

◆第８回　システムインフラ対策ＷＧ（３月 12 日）

主な審議、報告事項は以下のとおりです。

1. センターサーバリプレース計画フェーズアドホックからの報告と審議
2. 2020 年度活動テーマとその結果の報告
3. 2021 年２月度SYWG議事内容より情報共有
4. その他（4月リサイクル料金改定に係る資料提供の確認等）

◆第９回　ＳＹワーキング（３月１７日）

主な検討、報告事項は以下のとおりです。

1. 指定引取場所の業務削減・効率化
   （1）リサイクル券、製造業者等名表記の検討、他
2. 指定引取場所の利便性向上
   （1）新券の導入について、他
3. 指定引取場所の業務品質向上
   （1）入力ミス削減の取組み、他
4. その他（SY 変更情報の共有、メルマガ状況の報告、他）

＜認定センター関連＞

◆スマートマスター推進委員会　テキスト執筆 WG（３月 11 日）

主な報告、審議事項は以下のとおりです。

1. 認定センター報告
2. 各章の原稿内容確認及びフェーズあわせ
   （1）スマートハウス概論・コア知識
   （2）スマートハウスを支える機器・技術の基礎

◆スマートマスター専門委員会［第三者委員会］（３月 31 日）

主な報告、審議事項は以下のとおりです。

1. 第 40 回試験(第２回CBT方式)の結果について
   （1）結果概要
   （2）結果分析　スマートハウスの基礎、スマートハウスを支える機器・技術の基礎
2. その他
   （1）次回試験の実施要領について
   （2）その他連絡事項

◆３月度 情報発信・教育部会（３月 22 日）

今後の試験問題作成やスマートマスター参考書作成の活動スケジュールならびに、今後の情報収集ポイントなどについて審議しました。

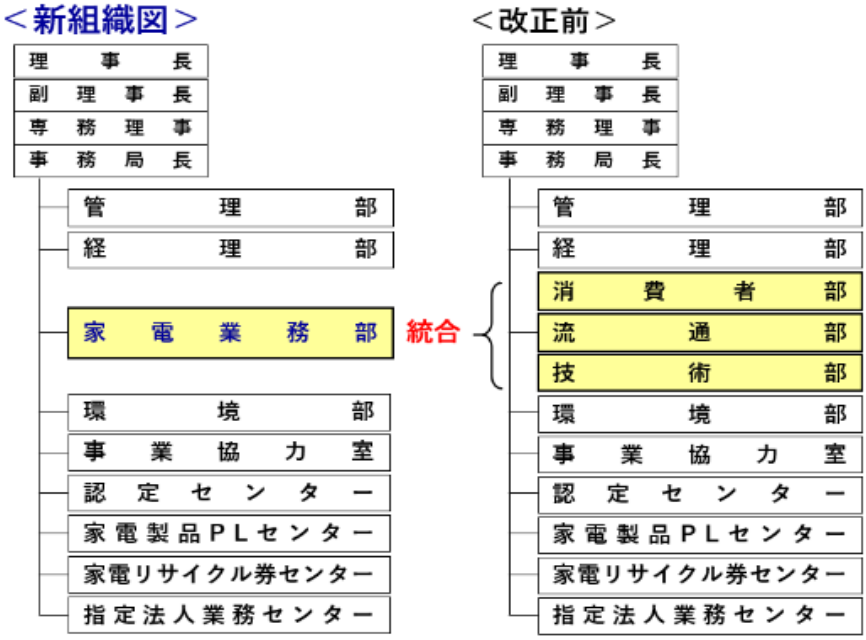
1. 第１部
   （1）第 40 回（第２回CBT方式）試験　終了、最終受験申請者
   （2）2021 年度試験問題作成、スケジュール等
   （3）スマートマスター参考書作成、スケジュール
   （4）スマートマスター参考書今後の作業プロセス
   （5）2021 年度委員、スケジュール案

2. 第2部
（1）3月情報収取状況／2020 年度情報収集概要
（2）4月掲載「マイスタディ講座　ここが要点」

■□■協会インフォメーション■□■

◆事務局組織改編について

３月４日に開催しました第 17 回理事会にて、「技術部」「消費者部」「流通部」の３つの部門を統合し、新たに「家電業務部」とすることが承認され、４月１日より始動いたしました。新体制のもと、協会活動の一層の充実に取り組みます。



◆人事異動

日　付	氏　名	新	旧
2021年3月31日	角田　亘	三菱電機株式会社	指定法人業務センター長 兼　事業協力室長
2021年4月1日	山本　健史	認定センター　次長	三菱電機株式会社
2021年4月1日	西林　希	経理部	―
2021年4月1日	有馬　聡	環境部　部長　兼 指定法人業務センター長　兼 事業協力室長	環境部　兼　流通部　部長
2021年4月1日	薬師寺　康博	家電業務部　部長	技術部　部長
2021年4月1日	町田　隆	家電業務部　担当部長	消費者部　部長
2021年4月1日	安藤　正二	環境部　次長	環境部　兼　流通部　次長
2021年4月1日	澤田石　昌幸	家電業務部　次長	消費者部　次長
2021年4月1日	松井田　匡	家電業務部　次長	技術部　次長
2021年4月1日	山崎　利昭	家電業務部　次長	消費者部　次長

◆今後の行事予定

年	月　日	時　間	行　事	主な議題等	場　所
2021	5月19日(水)	15:00-17:00	第35回運営委員会	理事会、評議員会事前説明等	家製協 第1･2会議室 ＋リモート
	6月3日(木)	15:00-16:30	第18回理事会	2020年度事業報告・決算報告等	家製協 第1･2会議室 ＋リモート
	6月22日(火)	15:00-16:30	第17回評議員会	2020年度事業報告・決算報告 理事選任等	家製協 第1･2会議室 ＋リモート
	6月23日(水)	書面決議	理事会	代表理事副理事長選定	
2022	3月3日(木)	15:00-17:00	第19回理事会	2022年度 事業計画･収支予算等	家製協 第1･2会議室
	3月15日(火)	15:00-16:30	第18回評議員会	報告事項 （2022年度事業計画等）	家製協 第1･2会議室

■□■　定点観測データ　■□■

◆家電リサイクル法対象４品目引取実績（３月度）

2021 年3月度の4品目の引取実績は、以下のとおりです。

（台数：千台）

品　目	当　月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	201	128%	3,854	108%
2.テレビ　計	351	124%	3,981	118%
① ブラウン管式	90	103%	983	99%
② 液晶式･プラズマ式	261	133%	2,998	126%
3.冷蔵庫･冷凍庫	308	122%	3,709	103%
4.洗濯機･衣類乾燥機	388	121%	4,476	106%
合　計	1,248	123%	16,020	108%

（うち指定法人）　（台数：千台）

品　目	当　月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	2	132%	39	110%
2.テレビ　計	25	134%	257	132%
① ブラウン管式	8	103%	84	105%
② 液晶式･プラズマ式	18	154%	173	150%
3.冷蔵庫･冷凍庫	25	121%	278	99%
4.洗濯機･衣類乾燥機	10	137%	95	110%
合　計	63	129%	669	112%

◆家電製品ＰＬセンター相談等受付件数実績（３月）

2021 年3月度の相談受付件数は、76 件（累計 1,640 件）です。
詳細は、家電製品 PL センターホームページのインフォメーションを参照願います。
https://www.aeha.or.jp/plc/houkoku/

◆家電製品国内出荷額の月別・年度別推移データを更新

2021 年1月度実績と年間推移を、協会ホームページに掲載しました。
https://www.aeha.or.jp/about/pdf/shukkasuii202101.pdf

■□■　溜池ボイス　■□■

◆リアル「二刀流」

先月メジャーリーグではオープン戦が始まり、エンゼルスの大谷翔平選手は日本人最多の５本塁打を放ち、投げては 101・9 マイル（約 164 キロ）でメジャー自己最速を更新するという絶好調で、ケガと手術を克服し、満を持して迎えた開幕戦では 118 年振り「リアル二刀流」の「２番・投手」で先発。初打席で先制２号ソロを放ち、米国メジャー史上の快挙を打ち立てました。

いわゆる「二刀流」と言えば宮本武蔵ですが、実は古代ローマにも二刀流の剣闘士が居た記録があるほど、2 本は 1 本より当然威力が大きいもので、日本剣道連盟としては公式戦での使用を一時禁止していた時期があったほどです。今では認められていますが、日本の公式戦で見る事はまずありません。私自身も、ドイツ在住時代に剣道の実践で一度当たったことがあるだけです。

ところで、大谷選手とは別に、アスリートが本業の傍ら副業でも活躍し、「二刀流」と呼ばれているケースがあります。例えばフィギュアスケートと俳優業、相撲力士と演歌歌手など。しかし、これって「二刀流」と言うべきなのでしょうか。

２つのメソッドを持っても、それら目的が同一でない場合は「二足の草鞋」と呼ばれます。アスリートと俳優の兼業は、リソースが分散することで個々の目的で成果が最大化されず、「二足の草鞋」と呼ぶべきでしょう。しかし、この２つは相反するようで、実は「紙一重」の位置にあり、同じ行為でも見る局面によって呼ばれ方が変わります。「フィギュアスケート」をしながら「俳優」をしても、その目的が「タレント」、つまり「有名人になりたい」という目的なら、「二足の草鞋」も立派な「二刀流」という事です。

しかし、逆も言えます。今の大谷選手、チームの勝利のためには「二刀流」なるも、アスリート個人として、投手、打者として前人未踏の記録を狙うためには、どちらか一刀を選択する日が来るのでしょうか。

◆◇◆◇◆━━◆◇◆◇◆

本メールは一般財団法人家電製品協会の賛助会員の皆様に配信しています。
記載された内容を許可なく転載・複製することを禁じます。
【配信停止方法】
本メールの配信の停止をご希望される方は、会社（団体等）名、氏名及び「配信停止を希望する」旨を
本メールの返信にてご連絡ください。

一般財団法人 家電製品協会
Association for Electric Home Appliances
〒100-0013　東京都千代田区霞が関 3-7-1　霞が関東急ビル５階　　代表　tel.03-6741-5600

◆◇◆◇◆━━◆◇◆◇◆